

土橋俊寛『ゲーム理論』（日評ベーシック・シリーズ）正誤表

2 刷りで修正済み

- 16 ページの上から 4～7 行目：
 - (修正前) 「1. 一生懸命に勉強し、難しい問題が出題される。」 →
 - (修正後) 「1. 学生が一生懸命に勉強し、教員が難しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「2. 勉強しないで試験に臨み、易しい問題が出題される。」 →
 - (修正後) 「2. 学生が勉強をさぼり、教員が易しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「3. 一生懸命に勉強し、易しい問題が出題される。」 →
 - (修正後) 「3. 学生が一生懸命に勉強し、教員が易しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「4. 勉強しないで試験に臨み、難しい問題が出題される。」 →
 - (修正後) 「4. 学生が勉強をさぼり、教員が難しい問題を作成する。」

- 16 ページの上から 12～15 行目：
 - (修正前) 「1. 易しい問題を出題し、学生が一生懸命に勉強する。」 →
 - (修正後) 「1. 学生が一生懸命に勉強し、教員が易しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「2. 易しい問題を出題し、学生が勉強しない。」 →
 - (修正後) 「2. 学生が勉強をさぼり、教員が易しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「3. 難しい問題を出題し、学生が一生懸命に勉強する。」 →
 - (修正後) 「3. 学生が一生懸命に勉強し、教員が難しい問題を作成する。」

 - (修正前) 「4. 難しい問題を出題し、学生が勉強しない。」 →
 - (修正後) 「4. 学生が勉強をさぼり、教員が難しい問題を作成する。」

- 45 ページの下から 5 行目：
 - (誤) 「9 個のナッシュ均衡が存在している。」 →
 - (正) 「10 個のナッシュ均衡が存在している」

- 98 ページの脚注 2 :
(修正前)「全体ゲームも部分ゲームの 1 つに含めて数えることがある。その場合、」→
(修正後)「全体ゲームは部分ゲームの 1 つに含まれると説明する教科書が多い。しかし本書では、読者の混乱を避けるために全体ゲームは部分ゲームに含めていない。全体ゲームを部分ゲームに含めた場合、」
- 209 ページ、問題 3.4 解答の下から 5 行目 :
(誤)「ゲームの解は (X, A) 、 (Z, C) 、 (Z, A) 、 (Z, C) の 4 つ。」→
(正)「ゲームの解は (X, A) 、 (X, C) 、 (Z, A) 、 (Z, C) の 4 つ。」

2022 年 8 月
株式会社日本評論社